

# 令和2年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓（ロシアほか）	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 倉本 博史	施策コード	02 - 05
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	国際課ロシア交流係 (内21-234)	関係課	国際課	政策体系コード	2 (5) B

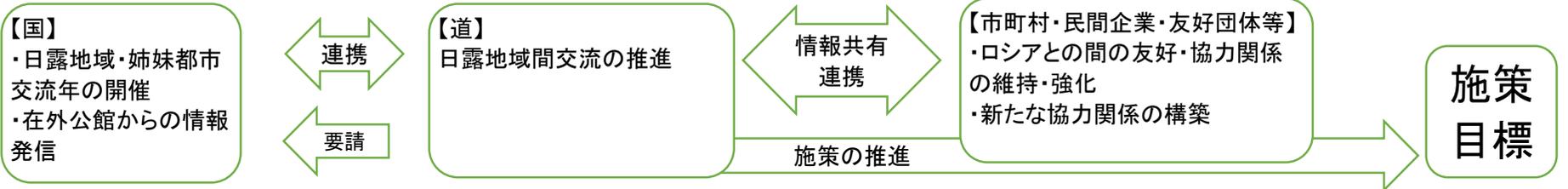
## Plan（目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1）

### 1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内需減少の厳しい経済環境下にある中、ロシアをはじめとする海外市場の成長を取り込むことによる、本道経済のグローバル化が求められている。</li> <li>・為替相場の変動、カントリーリスクの顕在化、経済連携の動きなど、我が国を取り巻く環境は絶えず大きく変動。</li> <li>・日露首脳会談や知事会談等の実施により、両国政府レベルでの交流機運が高まる中、国際情勢やニーズの変化に的確に対応する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのロシアとの交流の経験の蓄積を踏まえ、ロシアに対する本道の特徴（優位性）を活かし、寒冷地技術、食と観光、健康医療、廃棄物処理、文化・芸術・スポーツなどの分野でのロシアとの地域間交流の推進に取り組む。</li> </ul>	H30	125,865
		R1	122,165
		R2	116,318

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
【ロシア極東地域及び欧露部との地域間協力促進】	2(5)B	日露地域・姉妹都市交流年開催 在外公館からの情報発信・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシアとの地域間交流の推進方向の策定</li> <li>・ロシアにおける北海道ブランドの浸透</li> <li>・道内におけるロシア理解の促進</li> </ul>	姉妹都市関係の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道・ロシア地域間協力チーム」(122機関(R2.4現在))でのロシアとの地域間交流に係る関係機関間の情報共有等</li> </ul>
【サハリン州との友好・経済交流の促進】	2(5)B	日露地域・姉妹都市交流年開催 在外公館からの情報発信・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サハリン州政府との知事会談及び定期会議を主宰</li> <li>・道の海外拠点を活用した、現地情報の収集・提供や連絡調整による取組支援</li> </ul>	姉妹都市関係の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道・サハリン州友好・経済協力推進協議会」の構成員(27機関)として「友好・経済交流促進プラン」の取組促進に向けた協議・検討に参画</li> </ul>
【ロシア極東地域との地域間協力発展プログラム】	2(5)B	日露地域・姉妹都市交流年開催 在外公館からの情報発信・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシア極東地域との経済協力に関する常設合同委員会を主宰</li> <li>・道の海外拠点を活用した、現地情報の収集・提供や連絡調整による取組支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流推進委員会」の構成員(82機関)として「地域間協力発展プログラム」の取組促進に向けた協議・検討に参画</li> </ul>

### 施策のイメージ



# 令和2年度 基本評価調書

施策名	世界中の北海道を意識した海外市場の開拓（ロシアほか）	施策コード	02 — 05
-----	----------------------------	-------	---------

## Plan（目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1）

## Do & Check 施策評価

### 今年度の取組

### 1-2 取組の結果

政策体系 及び 関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを 踏まえた対応
2(5)B  【創生】 A3462 【公約】 C0115 C0116	【ロシア極東地域及び欧露部との地域間協力促進】 ◎日露経済交流拡大の機運を捉えたロシア極東地域、欧露部等との交流展開	【ロシア極東地域及び欧露部との地域間協力促進】 ・令和元年5月、モスクワで開催された「日露知事会議」に鈴木知事が参加。同会議の機会に、ハバロフスク地方知事、モスクワ州知事、サンクトペテルブルク知事及び沿海地方知事との知事会談を行い、各々の知事との間で地域間交流を進展させていくことで一致。 ・令和元年7月、副知事がサンクトペテルブルク市を訪問し、第3回ワーキンググループ会合を実施したほか、食の見本市「ペテルフード」にも出展した。 ・令和2年6月、近年の交流拡大の流れを踏まえ、ロシアとの交流を包括的・戦略的に推進するため「北海道・ロシア地域間交流推進方針」を策定。 ・日露交流促進に向け、地域が主体となる人的交流を含む経済・健康関連分野における交流事業への支援の充実を国に要望した。(R1.7) 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・往来による交流が不可能となっていることから、R2年5月に北海道での開催を予定していた「日露地域・姉妹都市交流年開会式」をはじめとする多くの事業が延期又は中止となっている状況。 ・新型コロナウイルスの感染症の影響下でも交流事業を継続的に実施するため、SNSを活用したロシア語による情報発信を開始。併せて、Webを活用した、相手方政府との協議を通じた取組を推進。	「北海道・ロシア地域間交流推進方針」の策定に係る有識者会議における委員からの主な意見（R1.10.30、R1.12.19、R2.2.3） ・友好関係は経済活動の基盤になる。Win-Winの関係をもとに戦略的な経済交流を。 ・人材育成、人材教育は経済交流にもつながる。 ・上記をはじめとする有識者会議での意見を、「北海道・ロシア地域間交流推進方針」の策定等に反映している。
2(5)B  【創生】 A3462 【公約】 C0115 C0116	【サハリン州との友好・経済交流の促進】 ◎道サハリン事務所の現地ネットワークを活用した経済交流の推進	コロナの影響をふまえた、姉妹都市市町村と連携した友好分野の取組を推進。 【サハリン州との友好・経済交流の促進】 ・道サハリン事務所や北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所派遣職員などの現地ネットワークを活用して、道内企業の海外展開を支援し、ロシア極東地域との経済交流を促進。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・令和2年4月以降、道サハリン事務所職員は帰国しており、現地ネットワークの活用には制約があるものの、現地スタッフへの指示やSNSの活用等により、できる限りの交流を推進している状況。	
2(5)B  【創生】 A3462 【公約】 C0115 C0116	【ロシア極東地域との地域間協力発展プログラム】 ◎健康関連フェアや商談会の開催等による道内企業のロシアビジネス活性化の推進 ◎ロシア極東3地域（サハリン州、ハバロフスク地方、沿海地方）の地方政府との会議の実施 ◎道サハリン事務所や北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所派遣職員などの現地ネットワークを活用した経済交流の推進	【ロシア極東地域との地域間協力発展プログラム】 ・令和元年度もロシア極東地域3都市において北海道フェアや商談会を実施し、道内企業の海外展開を支援。 ・令和元年10月、「北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会」第13回分野別部会を開催し、直行航空路線の活用に向けたPRの推進や「日露地域・姉妹都市交流年」（2020年～2021年）に向けた交流事業などについて意見交換を行った。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 令和2年4月より、道サハリン事務所や北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所派遣職員は帰国しており、現地ネットワークの活用には制約があるものの、現地スタッフへの指示やSNSの活用等により、できる限りの交流を推進している状況。	

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 2(5)B	【道内企業の海外展開進出を連携支援】 ・道内企業の情報・動向の共有(常時及び国際化推進会議等において) ・海外展開支援ノウハウの共有 ・同室が所管するJETROやHIBCの支援メニューを活用した取組支援	0508	経済部国際経済室	・国際経済室及び同室が所管するJETROやHIBCとの間で、常時及び会議等を通じて国や企業の動向及び海外展開支援ツールやノウハウを共有。
施策・部局 2(5)B	【食関連、観光、エネルギー分野での農政部、経済部等との連携】 ・「食の輸出戦略推進本部員会議」、「同WG会議」の構成員として、食輸出に関する情報を共有(食関連産業室) ・観光展示会や商談会におけるプロモーションツールやノウハウの活用(観光局) ・「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流推進委員会」の構成員として参画し交流支援(建設部、農政部、水産林務部) ・「北海道・ロシア極東医療交流基金」等を活用した医療技術向上のための交流支援(保健福祉部) 【その他の庁内連携】 ・国と連携し北海道とロシアとの地域間協力を推進するため、「北海道・日露地域間協力推進庁内連絡会議」を設置(H29.2) ・「北海道・ロシア連邦地域間協力キックオフ事業」はじめ経済・人的交流の更なる拡大に向け各部と連携していく	0503	経済部食関連産業室	・食関連産業室 「食の輸出戦略推進本部員会議」、「同WG会議」の構成員として、食輸出に関する情報を共有 ・観光局 観光展示会や商談会におけるプロモーションツールやノウハウの活用 ・建設部、農政部、水産林務部 「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流推進委員会」の構成員として参画し交流支援 ・保健福祉部 「北海道・ロシア極東医療交流基金」等の運営に関する連携支援
		-	経済部観光局	
		-	建設部建設政策課	
		-	農政部農政課	
		-	水産林務部総務課	
		-	保健福祉部地域医療課	
		-	経済部国際経済室、食関連産業室など全部局31課で構成	
地域・民間	【以下の会議等の構成員として参画し、北海道とロシアとの友好・経済交流の各種取組を連携支援】 ・「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流推進委員会」(81機関) ・「北海道・サハリン州友好・経済協力推進協議会」(27機関) ・「北海道・ロシア地域間協力チーム」(産学官金等122機関により構成、H29.5設置)		国、自治体、友好・経済団体、金融機関、大学、企業等	・各会議等の実施により、国、自治体及び各種団体等との間で、北海道とロシアとの友好・経済交流に関する取組や施策等についての情報を共有 ・直近では、「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流推進委員会」を令和元年10月3日に、「北海道・サハリン州友好・経済協力推進協議会」会議を令和元年10月23日に、「北海道・ロシア地域間協力チーム」会議を令和2年1月17日にそれぞれ開催

# 令和2年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓（ロシアほか）	施策コード	02 — 05
-----	-----------------------------	-------	---------

## Plan（目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1）

## Do & Check 施策評価

### 3 成果指標の設定

（H：平成、R：令和、大文字は年度、小文字は暦年）

### 3-2 成果指標の達成度合

主① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
	基準年度	h26	年度	r2	最終年度	r7	達成度合	D	D	D	
輸出額(暦年)	基準年度	h26	年度	r2	最終年度	r7	達成度合	D	D	D	・指標は、経済部国際経済室と共有しており、当施策は対ロシア貿易振興の観点から関与。 ・今後も、道の海外拠点を活用した企業支援や、フェア・商談会の開催により輸出支援を実施していく。 ・H31(R1)の対ロシア輸出額は、対前年比10.7%減となる約69億2000万円だった。
	基準値	4,787億円	目標値	6,000億円	最終目標値	7,250億円	年度	R1	R2	進捗率	
【指標の説明】 本道から函館税関を通じ、直接海外へ輸出された通関額 【アウトプット指標】 総合計画における施策の方向性「海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展」の観点から各目標を達成するための指標として設定。		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式	目標値	5,750	6,000	7,250	
		北海道総合計画	2(5)B	増加	(実績値/目標値)×100	実績値	3,121	—	3,121		
						達成率	54.3%	—	43.0%		

関① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
	基準年度	H30	年度	R2	最終年度	R5	達成度合	—	—	—	
ロシアからの来道者実人数	基準年度	H30	年度	R2	最終年度	R5	達成度合	—	—	—	・R2.8月現在、ロシアからの来道者実人数についてはH31(R1)4月～12月までのデータしかないため、算定不可 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、来道者が激減している状況にあり、指標のあり方の検討の必要があるが、現状では分析不能。
	基準値	17,900人	目標値	26,740人	最終目標値	40,000人	年度	R1	R2	進捗率	
【指標の説明】 日露両首脳間で設定された目標を超える訪問者数増を目指し、2018年実績の2倍を超える40,000人を目標として設定する。 【アウトカム指標】 観光を含めた人の往来が様々な分野での交流の基盤となることから、経済部観光局統計「ロシアからの来道者実人数」を目標として設定する。		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式	目標値	22,320	26,740	40,000	
		北海道創生総合戦略 北海道・ロシア地域間交流推進方針	2(5)B	増加	(実績値/目標値)×100	実績値	—	—	—		
						達成率	—	—	—		

### ● 本施策に成果指標を設定できない理由

### ● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	—
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓（ロシアほか）	施策コード	02	—	05
-----	-----------------------------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費(千円)	令和2年度					フルコスト(千円)
						事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			
			本庁	出先機関	人工計						
1001	2(5)B	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費(団体補助金分を除く)	・北海道サハリン事務所の運営 ・「道とサハリン州との友好・経済協力に関する提携」等に基づく友好・経済協力事業の基本方針等を協議するための諸会議の実施	国際課		22,225	22,225	2.0	0.4	2.4	41,233
1002	2(5)B	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費(団体補助金分～北海道・ロシア極東交流事業実行委員会)	・北海道・ロシア極東交流事業実行委員会が行う道の対ロシア施策に合致したサハリン州との友好交流事業に対する助成	国際課		2,166	2,166	0.1	0.0	0.1	2,958
1003	2(5)B	国際交流推進費(北海道・ロシア連邦地域間交流発展加速事業)	・ロシア極東地域との交流の深化に加え、欧露部等との交流の実施	国際課		73,962	73,962	2.0	0.4	2.4	92,970
1004	2(5)B	国際交流推進費(ロシアビジネス活性化推進事業(健康長寿産業分野))	・ロシア極東地域での健康関連フェアの開催などの実施	国際課		17,965	3,593	1.0	0.0	1.0	25,885
1005	2(5)B	ロシア等との友好・経済交流に関する事務	・ロシアとの友好・経済交流に係る連絡調整 ・ロシア交流団体との連絡調整 ・道内企業のロシアビジネス参入支援等	国際課		0	0	1.4	0.2	1.6	12,672
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
計					0	116,318	101,946	6.5	1.0	7.5	

令和2年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 - 05
-----	-----------------------------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
2(5)B				1	1	D指標あり	<輸出額(暦年)【D】> ・指標は北海道から全世界への輸出額であり、対ロシア輸出に限定されたものではない。対ロシア輸出の占める割合はわずかに約2%しかなく、達成度合への貢献は極めて限定的である。 一方で、全世界への輸出に占める対ロシア輸出の割合は、平成31年(令和元年)は2.22%であり、基準年(平成26年)の2.49%には及ばない。これは基準年が欧米による対ロシア経済制裁の本格化前で、その後極端に減少していたためであり、現在は回復基調にあると言える。 (H26(基準年):2.49%、H27:1.38%、H28:1.25%、H29:1.45%、H30:1.95%、H31(R1):2.22%) ・平均月給が高く消費活動が盛んな欧露部における北海道ブランドの浸透を図るため、見本市へのブース出展やSNSを利用した広報を進めていく。 <ロシアからの来道者実人数【-】> ・算定不可
						-	
						-	
計	0	0	0	1	1	D指標あり	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	△	道内各地域や産学官金が一体となってロシア極東地域とのビジネス交流の更なる深化に取り組むため、また、日露経済交流拡大の機運を捉えたロシア欧露部との交流を展開するため、社会情勢や道民の要請を集約する会議を定期的に行い、施策に反映しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、往来を伴う交流ができないため、一部取組が滞っている。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	日露交流促進に向け、地域が主体となる人的交流を含む経済・健康関連分野における交流事業への支援の充実を国に要望した。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	「北海道・ロシア地域間交流推進方針の策定に係る有識者会議」を開催し、道民ニーズを把握の上、施策に反映した。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	庁内においては、関係各部・課から構成される「北海道・日露地域間協力推進庁内連絡会議」の活用により、情報共有を図るとともに、施策実施に関する横断的な協力・連携を実施。また、「北海道・ロシア地域間協力チーム」などの会議等の実施により、国、自治体及び各種団体との間で、北海道とロシアとの友好・経済交流に関する取組や施策等についての情報を共有している。
判定	・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b ・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c		C



# 令和2年度 基本評価調書

施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓(ロシアほか)	施策コード	02 - 05
-----	-----------------------------	-------	---------

## Action 施策・事務事業評価

### 7 評価結果の反映 (1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・R2年6月に策定した「北海道・ロシア地域間交流推進方針」に基づき、ロシア各地との経済協力の推進に努めることとし、ビジネスミッション派遣や本道の魅力をPRする「北海道フェア」など、効果的な企業支援となる各種施策を随時実施する。	改善:北海道・ロシア連邦地域間交流発展加速事業
②	<新たな取組等> ・文化・スポーツ交流などの人的交流のほか、経済交流や行政間交流について、Web等を積極的に活用することにより、新型コロナウイルス感染症の影響下でも可能な交流に取り組む。	改善:北海道・ロシア連邦地域間交流発展加速事業

### (3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		1					1

次年度新規事業 (予定)
0

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価における 方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
1003	北海道・ロシア連邦地域間交流発展加速事業	改善	改善